

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公表番号】特表2011-506807(P2011-506807A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-539611(P2010-539611)

【国際特許分類】

E 0 6 B 3/70 (2006.01)

【F I】

E 0 6 B 3/70 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月29日(2011.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の取付け面を含む第 1 の部分と、

第 2 の取付け面を含む第 2 の部分と、

前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との間に配置された接続部分とを有する本体を具備する窓用フィルムを窓枠に固定するための取付け物品であって、

前記第 1 の部分が、前記第 2 の部分に向かって延在するとともに、前記第 2 の部分及び前記接続部分に対して間隔を空けて配置されたヒール部分を有し、更に、前記ヒール部分が、前記第 1 の取付け面の少なくとも一部分を有する物品。

【請求項 2】

前記第 1 の取り付け面及び第 2 の取付け面が略平行な面内に位置する請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記第 1 の取り付け面及び第 2 の取付け面が略垂直な面内に位置する請求項 1 に記載の物品。

【請求項 4】

(a) 窓枠と、

(b) 該窓枠内に配置された、相対する主表面を有するグレージングと、

(c) 前記グレージングの相対する主表面の少なくとも一つの上に配置された窓用フィルムと、

(d) 前記窓用フィルムの周辺の少なくとも一部分を前記窓枠に固定するための物品であって、第 1 の末端部及び第 2 の末端部と、前記窓枠及び前記窓用フィルムの少なくとも一方に接着剤で固着される第 1 の取付け面を有する第 1 の部分と、前記第 1 の取付け面とは反対側で前記第 1 の部分から外向きに延在する接続部分と、前記第 1 の部分とは反対側で前記接続部分の末端部と接合され且つ前記窓枠及び前記窓用フィルムの他方に接着剤で固着される第 2 の取付け面を有する第 2 の部分と、を備えた細長い本体を有する物品と、を具備する耐衝撃性窓組立体。